

夢、私たちに。

わたしのひとこと



「白馬山麓めぐり」に参加しませんか

飯田 尾上 宏

10月2日、白馬村公民館講座「白馬山麓めぐり」第一回が行われました。白馬山麓の里山地帯約70キロの道のりを10回(ゆっくりコース)に分けて、歩いて白馬村一周を目指します。講師は田中欣一先生と、田中先生から講習を受けているガイド希望者。

さのさか駐車場横の十二神社からスタートして、姫川源流、内山、三日市場神明宮、堀之内、嶺方(城下豪農の館跡、分校跡)、幸田、大出、野平、青鬼、塩島、落倉、切久保、八方と巡り、佐野坂三十三番観音を経て青木湖の秋葉岬がゴールです。

今回スタートした第1組は来春からそのまま継続し、第2組、第3組も新たに募って「白馬山麓めぐり」70キロの完歩を目指します。村内の方、村外の方を問わず、来春から本格的に始まる「白馬山麓めぐり」にご参加ください。

お問い合わせは白馬村公民館までどうぞ。



これって おかしくないですか？

新田 高橋 英子

9月27日に行われた、第2回地域公共交通委員会を傍聴しました。議題は、「7月に実施した公共交通に関するアンケート調査」の結果説明と、「アンケート結果から見えてきた問題と課題」についてです。

新たな交通整備が必要は43%。巡回バス(路線・循環)を望むが65%。通園通学の送迎に負担が大きく公共交通手段を望むが75%等々。ところが、課題に対する方向性として、①巡回バス、②通園通学移動手段確保の2点の検討だけは要望があるが、対応は難しいと仕分けされていました。

複数の委員から疑問の声が上がっていましたが、私も「何のために委員会を開催しているの」と首をかきあげ、あと3回の会議も注視していかなければと感じました。



来年は山案内人組合 100周年

みそら野 石田 弘行

白馬山案内人組合は、1919(大正8)年に細野の山案内人25人で「白馬岳登山案内人組合」を設立したことを起源とし、1924(大正13)年には白馬館の松沢貞逸翁が、北城村を取りまとめて60人が加入した「北城登山案内人組合」に発展させ今日に至っています。そして来年2019年には、組合員数104名で創立100周年を迎えます。

私たち山案内人(山岳ガイド)は、先人の足跡をたどりつつ、白馬村の山岳観光の担い手としての使命を将来につなげる節目として、この機会をとらえたいと思います。

山案内人の歴史は、民宿発祥、山岳スキー、スキー場開発の歴史とも一体であり深いかわりがあります。私たちは、ガイド業務に加え、登山道整備、遭難救助、登山相談所の活動を通して白馬村の山岳観光の屋台骨を支える存在であることに責任を感じ、誇りにも思っています。

あ と が き

天候に左右された一年間。冬季は早くからの降雪に恵まれ、久しぶりに長いスキーシーズンであり来客も多かった。

春はいつになく気温が高く桜の開花も早く、何となくだが異常気象の予感。田植えも順調に進み、早い梅雨入りとなったが、史上最短の梅雨明け宣言がされ、水不足が不安視される。

案の定7月から8月にかけて連日の猛暑で、白馬でもエアコンが無いと暮らせないという声も聞かれた。西日本の豪雨災害や台風の襲来、北海道での地震。秋は連日の降雨で稲刈りが心配された。今後とも異常気象?それともこれが「あたりまえ」になるの?

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|---------|
| 議長 | 北澤 慎二 郎 |
| 委員長 | 伊藤 まゆみ |
| 副委員長 | 田中 麻乃 |
| 委員 | 丸山 勇太郎 |
| 委員 | 太田 正治 |
| 委員 | 加藤 亮輔 |
| 委員 | 田中 榮一 |
| 委員 | 津滝 俊幸 |

(津滝 俊幸)

白馬議会だより 126号
平成30年10月31日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 PO印刷(株)

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://www.villhakudai.jp/assembly/assembly.html E-mail ghkai@villhakudai.jp